令和５年度校長挨拶

心ひとつに本気のチャレンジ

茨城県立北茨城特別支援学校長の三沢博樹（みさわひろき）と申します。昨年度に引き続き２年目となります。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は昭和 62 年に開校し、創立 37 年目を迎える知的障害特別支援学校です。目の前に広がる太平洋と西側に迫る多賀山系を望む恵まれた自然環境の中、「元気に　仲よく　たくましく」の校訓のもと、安心安全で笑顔あふれる教育環境の中で、自己有用感（人の役に立った、人からほめられた、人から認められた、という感情）、自己肯定感（自己に対する肯定的な評価）を育み、自立と社会参加を目指す教育を行っていきたいと思います。

昨年度に引き続き、４月に本校の先生方にアンケートを行いました。その中の「本校をどんな学校にしたいですか？」という質問に対する答えを分類すると、次の３つのキーワードが見つかりました。

１ 安心	２ 笑顔	３ チーム

「令和４年版　子供・若者白書」（内閣府）によると、「子供や若者の自己肯定感、今の充実感、社会貢献意欲、チャレンジ精神、将来への希望」と、「居場所の数」や「相談できる人がいる場の数」は相関すると報告しています。学校においても、「安心できる居場所」「安心して相談できる人」が大切です。

教職員が**「心ひとつに」**、子供たちのために**「本気のチャレンジ」**ができる学校を、笑顔あふれる「チームきたとく」でつくっていく決意です。

今年度もご支援ご協力をお願いいたします。

令和５年４月
茨城県立北茨城特別支援学校長　三沢博樹

太平洋を臨む校舎より